

練馬区の将来像を考える区民懇談会

教育分野分科会

第7回 議事概要

日時：平成20年2月4日（月）18:30～21:00

場所：練馬区役所東庁舎6階603会議室

出席者（敬称略、50音順）

石井和政、伊藤勝、岩田幸彦、奥野雅司、加藤裕、鈴木洋子、諏訪本雄次、田中裕、萩原美奈子、前田明美、三澤ちづ子、森田明

1. 区事務局より連絡

－事務局（区）より、配布資料の確認及び欠席者について報告があった。

2. 討議

（1）本日の進め方について

○事務局

- ・報告書案の構成としては、家庭、学校、地域、生涯学習・スポーツの4分野に分けており、各々について、現状・課題、将来像、取り組みの方向性・具体的事業のアイデアとなっている。
- ・前回事業アイデアを出していただいたものに基づき、事務局が取り組みの方向性などについて取りまとめた報告書案を作成したので、これについてご意見をいただく。次に、学校とそれ以外のグループに分かれて、事業アイデアなど前回の検討内容についてご確認いただく。
- ・最後に3月6日の全体会について発表者などについて決定したい。
- ・欠席者からのご意見があるので、これらも事業アイデアにいれていくかどうかご検討いただきたい。文章中の用語についても、初めて読む人には分かりにくい等のものがあれば修正していただきたい。

○高重コーディネーター

- ・本日は表現をどうするか、他部会等からいただいた意見についてどのように扱うのかについても全体討議の中でご意見をいただきたい。
- ・はじめに、前回の事業アイデアについて皆さんがお考えだったことについて反映されているかどうか確認していただきたい。修正や討議した内容については必ず付箋や紙上に記録を残してほしい。

(2) グループ討議

- ー学校とその他（家庭、地域、生涯学習・スポーツ）の2グループに分かれてアイデア事業について確認し、内容等を修正した。
- ー「取り組みの方向性」と「具体的事業アイデア」について、グループ討議の結果を発表した。

(3) 全体討議

○高重コーディネーター

- ・「練馬区がめざすべき将来像」についてご意見をいただきたい。

○委員

- ・人づくりを目標として、4つの分野にするという考え方は基本的によいのではないか。

○委員

- ・「他者への思いやりと、自愛～」は「慈愛」ではないか。

○委員

- ・教育としてめざす方向性、ビジョンということを考えるとき、目玉がないように思うが、例えば、「考える」「問題解決型の人を育てる」「練馬の未来を担う人」などが必要ではないか。

○委員

- ・議論が進む段階で、教育ビジョンを意識したアイデアを検討したかということ、どう結びついているのかが整理されていない。どれにもあてはまるが、今のようなことを視野に入れて議論したかということそうではない。それらとの整合性をどこでとるのかということがある。
- ・最後段の「～心をもつ人づくりができる教育」ではなく、「～心をもつ教育をめざす」もしくは「～人づくりをめざす」ではないか。

○委員

- ・「人づくりをめざす」の方が前文としてはよいのではないか。

○事務局

- ・表記のことであるが、冒頭に将来像とあって、さらに枠内にも将来像とあるが、枠内は、ワークショップの意見をまとめたもので、枠の外の部分でそれらを要約して、文章化しているという関係になっている。

○高重コーディネーター

- ・この部分は、当分科会オリジナルであり、討議に時間がかかりそうなので、先に分野別の将来像からご意見をいただくこととする。
- ・はじめに、家庭についての将来像についてはどうか。

○委員

- ・将来像の具体的内容の箇所に「父親・母親」と限定した記述があるが、父親や母親に限らない家庭もあるので、その他の家族について加えた方がよいと思う。

○委員

- ・「父親・母親」の次に「・保護者」としたらどうか。

○高重コーディネーター

- ・次に学校についてはどうか。将来像の「地域の責任」については先ほどのグループ討議で「地域の協力」と変えるということになったところである。

○委員

- ・7頁の上枠にある「高等教育機関」というのは大学をさすのか。わかりやすく「大学」としてよいのではないか。

○委員

- ・他分野から意見があった「環境教育」について入れた方がよいのではないか。

○高重コーディネーター

- ・環境教育については他分科会からの意見なのでワークショップからの意見の枠にいれるかどうかは事務局で検討した上で扱いたい。

○委員

- ・環境教育をいれるならば、後半にでてくる道徳教育などの言葉もここでふれた方がよい。

○委員

- ・将来像に掲げたものと、取り組みの方向性の関係は、将来像の方が上位概念なので、環境教育など個別のものを包含したような形であればよいと思う。

○高重コーディネーター

- ・地域づくりについてはどうか。

○委員

- ・学校教育のことが混じっているのではないか。「区内に立地している高等教育機関と学校との連携」とあるが、「高等教育機関」は「学校」ででてきた言葉であり、ここでは「区内に立地している」に重きがあるので、わざわざ「高等教育機関～」をいれなくてもよいのではないか。

○委員

- ・環境については、環境教育ということだけでなく、学校の緑化などに取り組み環境に負荷を与えないような行動をとっていくという考え方もあると思うので整理した方がよい。

○高重コーディネーター

- ・農地については環境を含む地域での教育という視点で整理して、先ほどの学校の環境への取り組みについては学校教育というように分けた方がよい。

○高重コーディネーター

- ・生涯学習・スポーツについてはどうか。

○委員

- ・「図書館の充実」について具体的なアイデアの関係から「図書館の整備・充実」にしてほしい。

○高重コーディネーター

- ・前文にもどりご意見をいただくこととする。先ほど、分野別の将来像と位置づけが異なるので、下枠と上の文章の関係についてどのように扱うかという指摘があったが、どうか。
- ・枠の外に出して、文章化するということもあると思うが、ご意見があればいただきたい。

○委員

- ・前文としての体裁と後半への続きとしての調整が必要ではないか。
- ・どんな言葉をいれていくのか構成項目の議論をしたらどうか。そこを落とさなければ、あとは表現の問題ではないか。

○委員

- ・子どもだけでなく、区民全体の人づくりを考えた時には枠内の言葉だけでは不足だと思う。

○委員

- ・人づくりということをする時に「あいさつをする、ごみを拾う」というのは小さいのではないか。むしろ「道徳心・公共心など社会規範を身に付けた」など大きく囲った方がよい。子どもというよりも「人」になってほしいという目標となるような、未来に向けて発展していく、前向きな文章がよいのではないか。
- ・「育まれた子どもが育つ」は同じ言葉が重なっているので直した方がよい。このまま使うのであれば「奉仕精神を身に付けた」「奉仕精神をもった」というような表現ではないか。

○委員

- ・冒頭に「自立心・社会性・協調性・やさしさを身に付け～」がメインになっているが、主体性があまり強調されていない。
- ・「自己責任がある」というようなことは人づくりの基本だと思う。

○委員

- ・「練馬の未来を拓く人づくり」ということを4つめの*に加えたらどうか。

○高重コーディネーター

- ・自立心があって、考える力をもった練馬の未来を拓く人づくり、というようなことか。

○委員

- ・「練馬区の将来を担う自立心と責任感をもった人づくり」というようなことか。

○高重コーディネーター

- ・「練馬区の将来を担う人づくり」に「自立心」「責任感」「考える力」など必要な言葉を「入れていくという感じか。

○委員

- ・練馬区から世界に羽ばたいていくというイメージがあったほうがよいのではないか。

○委員

- ・そういうこともあるが、「郷土を愛する」という意味合いももっていると思うので練馬を担うがあまり狭い意味にならないようにした方がいい。

○委員

- ・自分で判断する自主と、他との関係性における協調が基本である。

○委員

- ・練馬区の将来を担う、世界に羽ばたくということはあるが、「力量」「たくましさ」そういうものも必要ではないか。後半でもそれらの言葉がでてきていない。

○高重コーディネーター

- ・将来を担う人づくりというようなことを入れていくということでしょうか。
- ・ここでは決めかねるので、発表者と事務局に預かりということではいかがか。事前に案をお送りするので、それに対してご意見をいただくことにしたい。

○事務局

- ・課題についてであるが、中間報告の時のままであるが、他分科会からの意見を検討いただく。
- ・他分科会（子育て支援）の観点と教育分野における親の捉え方の違いや、家庭の責任を放棄しているという捉え方があったこと、また、中間報告について議会に報告した中で、子育てにおける親の教育の必要性についての観点が食い違うという指摘があった。課題の書き方がきついのかと思っているので、後ろの取り組みの方向性に合わせた形で修正させていただきたい。

○委員

- ・少し断定的な部分があることは確かだと思う。子どもに問題があるのではなく、親側に課題があり、それが悪いということではなくいろいろな事情があるのだという視点で修正するということがよいのではないか。
- ・大人側がもっている問題項目ということについては明確にしておく必要がある。

○委員

- ・学校に関わる課題について、授業の質的内容について「画一教育」「知識偏重」「問題の発見・解決」「考える力」というような教育の課題もあった方がよいかと思った。

3. 発表者について

○事務局

- ・ 3月6日の全体会の発表者、3月24日と27日の区民対象とした発表会の発表者について決めたい。できれば全体会の発表者に区民対象の発表会もお願いしたいと思うがどうか。

- ・ 前は、お二人が課題や将来像を代わる代わる発表していただいたが、今回はどのような形にしたらいいか。

○委員

- ・ 一人で全部発表するのは大変。3人以上でできたところも他分野ではあったようなので、正は一人でも副に2人たっていて、質問に対応するというやり方もある。

○委員

- ・ 聞き手側にとってどちらが都合がいいかを考えると、一人が全て発表するより、分割した方が聞きやすいような気がした。

○事務局

- ・ 2つのグループに分かれているので二人でどうか。具体的に学校からお一人、家庭などその他からお一人をお願いしたい。

○委員

- ・ 前回の二人をお願いすることでよいのではないか。

○事務局

- ・ 前回の二人でお願いする。この後のスケジュールについてであるが、今日の意見を受けて事務局で案を修正し、20日くらいを目処にお送りする。内容をご検討いただき25日ころまでに意見をいただきたい。それを受けて2月28日（木）に発表者と打ち合わせをするが、参加希望者にはご参加いただきたい。

○委員

- ・ 全体の図があった方がいいと思う。

○事務局

- ・ 今回は全体の図をいれることとする。
- ・ 来年度は審議会で検討するが区民懇談会の委員から審議会への参加をお願いするように検討している。

4. 次回予定

- ・ 全体会は、3月6日（木）18:30～20:30に開催する。

(以上)